

感情が病気の原因に！

七情とは、喜・怒・憂・思・悲・恐・驚の7つの感情をさします。人間の生活は、七情を適度におりませながら営まれています。しかし、急に強い感情的なショックを受けたり、長期間にわたり精神的なストレスを受け続けると、喜び、怒り、憂い、思い悩み、悲しみ、恐れ、驚きの感情は、生理的な限界を超え、身体に悪影響をおよぼします。その結果、気血の運行や臓腑の働きが乱され、疾病が発症してしまいます。



『怒ればすなわち気上る』

過度の怒りは、肝の疏泄作用を失調させ、気が逆上し、胸脇部が脹る、頭痛、めまい、目が赤いなどの症状をあらわします。



『喜べばすなわち気緩む』

生理的範囲を超えた喜びは、心気を弛緩させ、動悸、不眠、精神異常などの症状をあらわします。



『思えばすなわち気結す』

過度の思いや憂いは、気を停滞させ、脾の運化失調をおこし、腹が脹る、食欲がない、軟便などの症状を起こします。



↕ 『憂』はどちらにも含まれます



『悲しめばすなわち気消す』

過度の悲しみは、肺気が消耗し、息切れ、しゃべりたくない、声がかすれる、疲労感、ぼーっとするなどの症状があらわれます。



『恐るればすなわち気下る』

過度の恐れは腎気を消耗させ、失禁、流産、記憶力減退、骨がもろくなる、髪がぬける、遺精などの症状をあらわします。



『驚けばすなわち気乱る』

過度の驚きは、気血の調和を失い、心気をみだすと、動悸、不眠、精神錯乱をおこし、腎気をみだすと、記憶力減退、集中力の低下などの症状をあらわします。(心腎不交)



中医鍼灸では、「ストレス」という部分にも原因を求めて治療を行います。そのため、西洋医学では改善しにくい症状も良くしていくことが可能となります。

予約はこちら 048-446-9860

石上鍼灸院

